



清華大學

国税庁認定NPO法人

アジアの新しい風

日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト



日時：2015年5月16日

会場：清華大学 文楠楼 116教室

主催：認定NPO法人アジアの新しい風
清華大学日本語科

ありがとうございました。寄付をいただいた皆様

清華大学における今回のコンテストに対し、今年2月14日に東京で開かれたアジアの新しい風新春交流会で寄付をお願いしたところ、以下の方々から寄付を頂きました。感謝を込めてお名前を掲載いたします。(50音順)

新井 雅夫、五十嵐 久仁香、五十嵐 光、石井 和徳、伊藤 春雄、
岩切 祐樹、上 高子、奥谷 龍夫、奥村 由巳、奥山 寿子、奥山 正昭、
河村 新蔵、坂上 勝朗、坂巻 延子、佐藤 賢三、重信 克昌、城谷 健一、
杉本 典子、鈴木 一美、高橋 雪子、田仲 和彦、谷口 浩章、頓所 潔子、
中村 一郎、西川 恵美子、林 孝男、坂東 敏弘、福山 阿英、藤原 ひさ子、
古畑 仁一、古海 正子、増本 純子、松井 富夫、松島 沢枝、松野 芳夫
(以上35名、寄付合計 22万円)



清華大学訪問団

今回のコンテストの応援と、清華大学で日本語を学ぶ学生、およびその指導にあたっておられる清華大学日本語科の先生方との交流を目的に、アジアの新しい風が訪問団の参加を募ったところ、会員を中心に9人から参加の申し出がありました。参加者には今回のコンテストの実施、および交流会の諸費用を会費として負担していただきました。ありがとうございました。

訪問団の参加者のお名前を掲載します。(50音順)

岩切 祐樹、奥山 正昭、川口 祐子、杉本 茂樹、杉本 典子、田仲 和彦、
中村 一郎、府川 由季、含本 一雄
(以上9名、会費合計 9万円)

今回のコンテスト開催について

認定NPO法人アジアの新しい風と中国・清華大学外国語学部日本語科は2004年度から交流を開始し、今年で11年目を迎えました。アジアからの日本語教師の派遣、大学で日本語を学ぶ学生と日本の会員とのパソコンを通じたメール交換、また日本に留学してきたIメイト学生とアジア会員との交流会の開催など、国境を越えた交流を毎年積み重ね、また、この間、アジアの主催で読后感想文コンテストを昨年まで8回行い、その表彰式を兼ねて日本から清華大学訪問団を毎年派遣してきました。

今回は、ちょっと趣向を変えて「日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト」を実施します。詩歌の言葉には、日本人の魂が込められています。優秀な清華大学の学生さんが、より深く日本の言葉と、そこに込められた心を理解する道として、「詩歌の暗誦と感想の発表」を課題とすることとしました。

4月に2年生のIメイト学生を対象とする予選が行われ、本日は予選で選ばれた10人が最終審査に臨みます。コンテストの実施と今回の訪問団の受け入れにあたっては、清華大学日本語科の馮 峰主任を始め、多くの先生方のご協力を得ました。厚く感謝申し上げます。またコンテストの実施費用として日本の会員の皆様から、多くの寄付をいただきました。

本日のスケジュール

14時	開幕の挨拶	アジア風訪問団団長 田仲 和彦
	審査員のご紹介	
14時10分	コンテスト（前半） 5名	
14時50分	コンテスト（後半） 5名	
15時30分	学生によるパフォーマンス	
16時00分	成績発表と講評	審査委員長 中村 一郎
16時15分	閉幕のご挨拶	清華大学 馮 峰主任
17時	表彰式（交流会の途中に）	
	1位～3位	表彰状と賞金授与
	その他コンテスト参加者に賞品授与	
	1位～3位の入賞者あいさつ	



riguiz

日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト

本選出場者氏名	課題詩
1、金滢（きんえい）	「いま始まる新しいいま」
2、袁揚民（えんようみん）	「一個の人間」
3、陳宇滢（ちんうえい）	「春に」
4、李秋紅（りしゅうこう）	「雨ニモマケズ」
5、金真泰（キムジンテ、韓国籍）	「一個の人間」
6、張帆（ちょうはん）	「いま始まる新しいいま」
7、王雋淇（おうしゅんき）	「春に」
8、賈奕寧（かえきねい）	「雨ニモマケズ」
9、張楊（ちょうよう）	「いま始まる新しいいま」
10、陳路遙（ちんろよう）	「一個の人間」

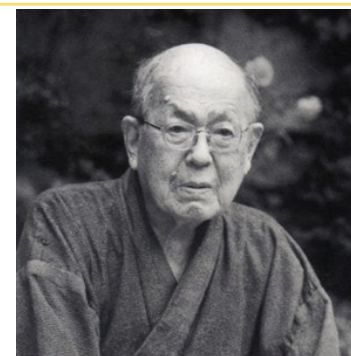
採点表

順番	名前	暗誦 (5点)	感想と 質疑応答 (5点)	合計 (10点)	備考
1	金滢 (きんえい)				
2	袁揚民 (えんようみん)				
3	陳宇滢 (ちんうえい)				
4	李秋紅 (りしゅうこう)				
5	金真泰 (キムジンテ)				
6	張帆 (ちょうはん)				
7	王雋淇 (おうしゅんき)				
8	賈奕寧 (かえきねい)				
9	張楊 (ちょうよう)				
10	陳路遙 (ちんろよう)				

課題詩

一個の人間

武者小路実篤



自分は一個の人間でありたい。
誰も利用されない
誰にも頭をさげない
一個の人間でありたい。
他人を利用したり
他人をいびつにしたりしない
そのかわり自分もいびつにされない
一個の人間でありたい。

自分の最も深い泉から
最も新鮮な
生命の泉をくみとる
一個の人間でありたい。

誰もが見て
これでこそ人間だと思ふ
一個の人間でありたい。
一個の人間は
一個の人間でいいのではないか
一個の人間
独立人同志が
愛しあい、尊敬しあい、力をあわせる。
それは実に美しいことだ。
だが他人を利用して得をしようとするものは、いかに醜いか。
その醜さを本当に知るものが一個の人間。

いま始まる新しいいま

川崎洋



心臓から送り出された新鮮な血液は
十数秒で全身をめぐる
わたしはさっきのわたしではない
そしてあなたも
わたしたちはいつも新しい

さなぎからかえったばかりの蝶が
生まれたばかりの陽炎の中で揺れる
あの花は
きのうはまだ蕾だった
海を渡ってきた新しい風がほら
踊りながら走ってくる
自然はいつも新しい

きのう知らなかったことを
きょう知る喜び
きのうは気づかなかったけど
きょう見えてくるものがある
日々新しくなる世界
古代史の一部がまた塗り替えられる
過去でさえ新しくなる

きょうも新しいめぐり合いがあり
まっさらの愛が
次々に生まれ
いま初めて歌われる歌がある
いつも いつも
新しいいのちを生きよう
いま始まる新しいいま

春に

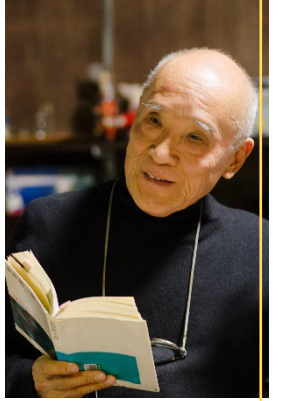
この気もちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが
大地からあしのうらを伝わって
ぼくの腹へ胸へそうしてのどへ
声にならないさけびとなってこみあげる
この気もちはなんだろう

枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく
よろこびだ しかしかなしみでもある
いらだちだ しかもやすらぎがある
あこがれだ そしていかりがかくれている
心のダムにせきとめられ
よどみ渦まきせめぎあい
いまあふれようとする

谷川俊太郎

この気もちはなんだろう
あの空の青に手をひたしたい
まだ会ったことのないすべての人と
会ってみたい話してみたい
あしたとあさってが一度にくるといい
ぼくはもどかしい

地平線のかなたへと歩きつづけたい
そのくせこの草の上でじっとしていたい
大声でだれかを呼びたい
そのくせひとりで黙っていたい
この気もちはなんだろう



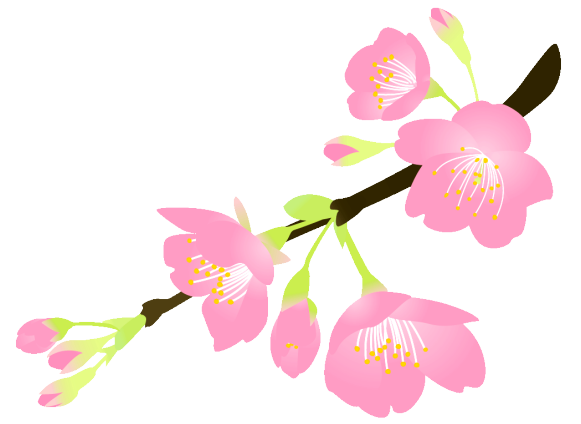
雨ニモマケズ

雨にも負けず
風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫なからだをもち
慾はなく
決して怒らず
いつも静かに笑っている
一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜を食べ
あらゆることを
自分を勘定に入れずに
よく見聞きし分かり
そして忘れず

宮沢賢治

野原の松の林の陰の
小さな萱ぶきの小屋にいて
東に病気の子供あれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行ってその稲の束を負い
南に死にそうな人あれば
行ってこわがらなくてもいいといい
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめろといい
日照りの時は涙を流し
寒さの夏はおろおろ歩き
みんなにでくのぼーと呼ばれ
褒められもせず
苦にもされず
そういうものに
わたしはなりたい





日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト

発行日 2015年5月16日

発行者 認定NPO法人 アジアの新しい風

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻 2-18-22-414

ホームページ <http://www.npo-asia.org>

メール new-wind2006@npo-asia.org

